

相馬市

40年

その足跡

昭和29年3月31日、私たちのふるさと相馬市は市制を施行し、平成6年に40周年を迎えました。そして、海と緑の活力ある中核都市にスクスクと成長してきました。今、その40年にわたる足跡を振り返るとき、21世紀の新生活圏都市をめざす力を感じとることができます。

相馬市40年のあゆみ

- 昭和29年（一九五四）
中村町・大野村・飯豊村・山上村・玉野村・八幡村・日立木村・磯部村が合併し、「相馬市」が誕生。初代市長に横山宗延氏。
- 昭和30年（一九五五）
第一回市産業文化祭を開催。上水道第一次拡張事業を実施。
- 昭和31年（一九五六）
常備消防署（市消防署）を設置。市政だより第一号を発行（市史による）。
- 昭和32年（一九五七）
相馬愛育園（児童養護施設）を開設。



大町通り

※写真は昭和31年発行の市勢要覧から



旧中村一中と二の丸球場

- 昭和33年（一九五八）
二代目市長に佐藤清照氏。台風22号による大水害発生。
- 昭和34年（一九五九）
原釜港を相馬港と改称。
- 昭和35年（一九六〇）
相馬港が地方港湾に指定される。
- 昭和36年（一九六一）
飯豊・山上・宇多の三校を統合し、向陽中学校を新設。
- 昭和37年（一九六二）
三代市長に横山宗延氏。交通安全都市宣言。国土調査に着手。
- 昭和38年（一九六三）
国道6号の改良舗装が進む。市制施行10周年記念式典を挙行。
- 昭和39年（一九六四）
衛生センター（し尿処理場）の建設に着手。
- 昭和40年（一九六五）
七農協が合併、相馬市農協が誕生。
- 昭和41年（一九六六）
四代目市長に横山宗延氏。
- 昭和42年（一九六七）
市民会館が完成。市民の歌を制定。
- 昭和43年（一九六八）
市立大野幼稚園開設（第一号）。市制施行15周年記念式典を挙行。
- 昭和44年（一九六九）
第一回市民号を運行。駅前広場完成。保健所支所開設。市史「第四巻・奥相志」発刊。
- 昭和45年（一九七〇）
五代目市長に横山宗延氏。公立相馬病院が完成。相馬港に待望の第一船が入港。